

# ピッキングテンプレートの状況

- 展開状況
  - ヤマエ久野様案件について2016/05に先方と話を進める想定
- IT4状況
  - 企画要求整理の上、開発ベンダーに概算工数算出依頼中
    - 予算の都合、対応案件は技術ドキュメント整備と残課題対応程度の見込み
    - IT4がヤマエ久野様向け仕向けに必ずミートするという確証は現状無い
      - 例:データ連携の方法が「WMSがピッキングを叩く」か「ピッキングがWMSを叩く」かによって必要とされる機能が変わってくる
  - 4/5以降に開発ベンダーと要件すり合わせの上、見積もり予定
    - 開発着手は4月中旬～下旬になる見込み(開発完了は5月末以降?)
- 開発状況
  - デモ用途でIT3まで開発。(IT3は3月末検収完了予定)
  - プレFVTをIT2で実施中
  - FSVTではIT3を使用する予定

# 提案内容

現状を鑑みて以下を提案します。

- IT4の扱いを「ヤマエ久野様向け仕向け対応」とし、ヤマエ久野様向け仕向け内容が明確になった段階(5月～)で要件を明確にした後、着手する
  - メリット
    - 対応内容をヤマエ久野様向けに特化できるので開発規模・スケジュールの最適化が出来る
      - IT4を現状のまま進めても、スケジュール的なメリットはあまり無い可能性が
    - 仕向け案件であるので、予算調達も行いやすい
      - 先方とKMのコスト分担も考えられる
  - デメリット
    - 開発ベンダーの体制維持
      - 課題ではあるが、実際のお客様向けの対応計画が立てられない現状では、このまま進める事にもリスクがある(不要な投資になりかねない)